令和７年度札幌市国民健康保険会計決算

【歳入】 （単位：億円）

	令和７年度				令和６年度決算(C)	前年比(B-C)
	当初予算	予算現額(A)	決算(B)	予決差(B-A)		
保険料	292.2	292.2	304.0	11.8	306.2	△ 2.2
国庫・道支出金	1,319.9	1,319.9	1,281.0	△ 38.9	1,298.3	△ 17.3
繰入金	208.0	208.6	200.4	△ 8.2	203.9	△ 3.5
その他	2.5	2.5	2.0	△ 0.5	2.0	0.0
歳入合計	1,822.5	1,823.1	1,787.4	△ 35.7	1,810.4	△ 23.0

※その他は、延滞金、保険給付費返還金等

【歳出】 （単位：億円）

	令和７年度				令和６年度決算(C)	前年比(B-C)
	当初予算	予算現額(A)	決算(B)	予決差(B-A)		
総務管理費	43.5	44.1	41.3	△ 2.8	39.1	2.2
医療費の保険者負担分	1,293.4	1,293.4	1,252.4	△ 41.0	1,270.7	△ 18.3
出産育児諸費・葬祭費等	8.0	8.0	7.0	△ 1.0	7.3	△ 0.3
保健事業費	9.8	9.8	9.1	△ 0.7	9.2	△ 0.1
事業費納付金	464.5	464.5	464.5	0.0	474.6	△ 10.1
諸支出金等	3.2	3.2	2.4	△ 0.8	3.4	△ 1.0
歳出合計	1,822.5	1,823.1	1,776.7	△ 46.4	1,804.2	△ 27.5

※諸支出金は、保険料還付金、国庫支出金等返還金

歳入－歳出	10.7

予算と決算のかい離理由（主なもの）（単位：億円）

【 歳入 】

保険料 ＋ 11.8

・ 予算見込時より賦課額が増加し、それに伴い収納実額も増加した（現年度分8.6億円増、滞納繰越分3.2億円増）。

国庫・道支出金 △ 38.9

・ 療養費等の支出が減少したことにより、北海道から受け取る保険給付費交付金（普通交付金）が減少した。

【 歳出 】

医療費の保険者負担分 △ 41.0

・ 療養費等について過去の実績に基づき予算を確保していたところ、実際の支出が下回った。

総務管理費 △ 2.8

・ 職員給与の減や時間外勤務手当の節減等

国民健康保険支払準備基金額の推移（億円）

Ｒ７年度	期首残額	52.7
	期中取崩額	5.8
	期末積立額	11.0
	期末残額	**57.8**
Ｒ８年度	期中取崩額(予定)	5.5
	期末残額(予定)	**52.4**

※期末積立額には、基金運用益0.3億円を含む。

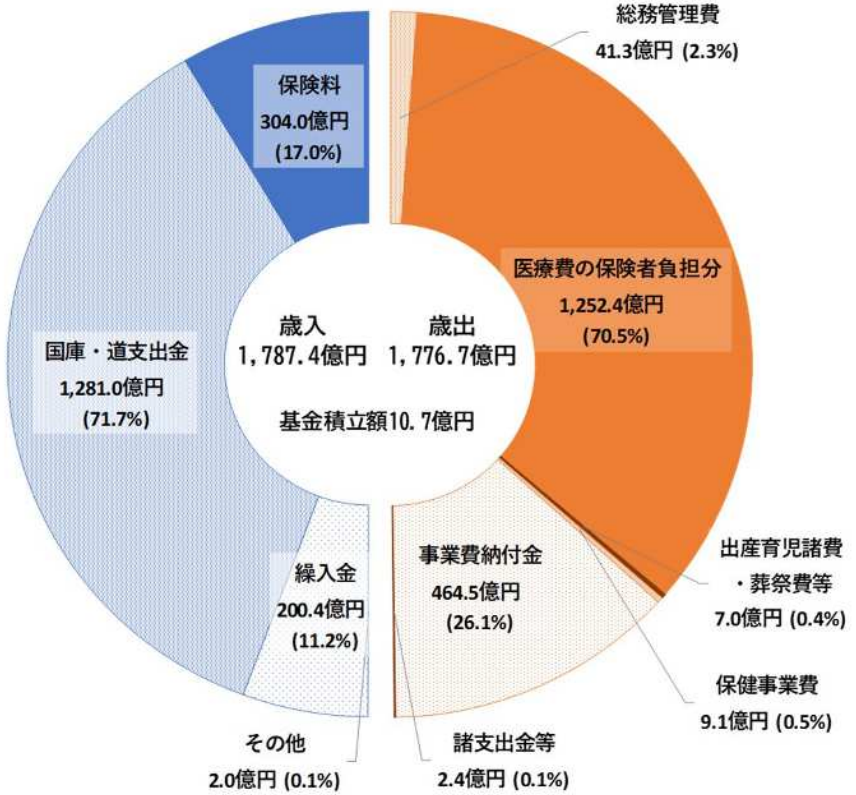
基金の令和８年度期末残額見込みについて

○ 令和７年度の期末残額は57.8億円。
○ 令和８年度は、全道統一保険料率（令和12年度）に向けて賦課割合の見直しを開始するにあたり、影響を受ける低所得世帯・多人数世帯の負担増を抑制するため、基金1.0億円を活用。
○ 他に、特定健診自己負担額の無料化として1.6億円、適正服薬推進事業の対象者拡大として0.1億円、道支出金の返還金等として2.0億円、北海道財政安定化基金への拠出等として0.8億円を取り崩す予定。
○ 結果として、取崩し後の期末残額は52.4億円となる見込み。

※各表中の数字は項目ごとに四捨五入しているため、総額・期末残額が一致しない場合がある。

▶▶ 決 算 状 況

○令和７年度国民健康保険会計決算の概要



○保険料収納額・収納率

（億円）

		R5年度	R6年度	R7年度
現年度分	賦課額	312.1	315.2	311.8
	収納額	294.4	297.0	293.5
	収納率	94.33%	94.23%	94.13%
滞納繰越分	賦課額	30.7	31.5	32.8
	収納額	8.1	8.9	10.2
	収納率	26.40%	28.44%	30.99%

○被保険者数・世帯数

	R5年度	R6年度	R7年度
被保険者数	339,367人	325,324人	312,832人
前期高齢者	155,677人	146,476人	137,864人
（全体に占める割合）	（45.87%）	（45.02%）	（44.07%）
世　帯　数	249,053世帯	241,672世帯	235,101世帯

（被保険者数・世帯数は３月～２月平均）

○札幌市の人口である約197万人のうち、約15.9%が国保に加入している。
○団塊の世代が75歳に到達し、後期高齢者医療制度へ移行していることにより、被保険者数が約1万人の規模で減少している。

○総医療費・一人当たり医療費

